



日本共産党
まさき一子
尼崎市議会議員 真崎いちこ

いちこ通信

後援会事務所：武庫元町1-27-2
電話4962-3666
議会控え室：電話6489-6070

子育て支援の実現を求めて全力!

他会派からも

中学給食は必要との声が広がる

中学校弁当については、これまで、食堂方式、弁当方式と実験的におこなってききましたが、ことごとく失敗に終わりました。小手先の改善では、もはや限界です。

中学給食は 当たり前前の時代

全国で8割を超える自治体で実施されています。両隣を見れば、西宮市は実施済み、大阪府は、導入の検討をはじめ、いまや、中学校給食があるのが当たり前になりつつあります。

当局は、財政状況が好転すれば、「検討」するとしていました。

完全弁当給食を 求めていきます

子どもたちの健康と発育のために、食育のためにも、子育て世帯を尼崎に呼び込み、定住を促進するためにも、中学



校給食の検討を始めるべきです。本格的な自校方式での給食が必要ですが、改善の策として中学校完全弁当(全員同じ弁当、週5回実施、主食・おかず・汁物)を求めていきます。

他会派からも中学校給食の必要性が主張されてきています。



今年の年賀状に「中学給食を実現して」と訴えるハガキが届きました

子どもの医療費無料化へ

今年7月から 一歩前進

一歩前進です。

子育てしやすい尼崎市をめざして、引き続き通院費の無料化に向けてがんばります。

通院の窓口負担は、0歳～就学前まで無料、小学1年～3年生まで800円×2回まで、月、小学4年～6年生まで2割負担になります。
入院は、0歳～中学3年生まで、無料になります。

これまでも日本共産党は、子ども医療の無料化を訴えてきました。今年度は無料化に向けて



児童ホーム開所時間の延長

れを受けての拡充となりました。

今年4月から、児童ホーム開所時間を、17時から18時まで1時間の延長します。

1人からの延長希望者から受け入れます。児童の安全を最優先に、延長時の下校については、保護者等のお迎えが必要です。延長料金は月額1800円となります。

保護者からの児童ホームの開所時間延長を望む声が多く、そ



日本共産党市議団は、2012年度予算案に反対しました

3月に開かれた議会で共産党市議団は来年度予算は「市民合意なし」「市民生活をどのように守るのか」という視点に立つて予算案に反対しました。

労働福祉会館

労働センターの廃止

利用者から廃止反対の運動が続いている中、老朽化を理由に廃止が決まりました。

耐震診断もせず旧耐震基準の建物であることを理由にするのであれば、他にもある昭和56年以前の公共施設全体を問題にしなければなりません。また代替ホールが建設されるまで、2～3年の空白期間を作るべきではありません。

市立幼稚園

教育プログラムの見直し

9園廃止を知った保護者の強い反対の中、幼い子ども達の影響が懸念されます。

文教委員会が『9園の見直し』を意見したにも関わらず、強行する姿勢を変えていません。



4月から市民の暮らしが変わります

ゴミ減量リサイクル

長年実施してきた「燃やすゴミ」の回収を週2回に減らし、資源（ごみ紙・布）は週1回の回収に増やす。これは資源ごみ分別の徹底がポイントです。

徹底した市民への説明と理解への努力が必要です。



高齢者には冷たい仕打ち

65歳～69歳までの高齢者の福祉医療費が、世帯全員が市民税非課税の1500人対象に、医療費2割負担が3割負担になります。

市バス敬老パスが今年10月から、一回乗車50円から100円に値上げされます。高齢者には医療面、生活面で大変厳しいものです。

庶民に増税、大企業には減税

震災復興財源確保を理由に、市民税一律500円の増税。

一方では、県道園田西武庫線の財源は市債を充ててまで事業推進し、三菱電機の敷地内玉突き移転にまで、企業立地促進条例で固定資産税を減税するのは反対です。

社会保障が、市民を苦しめる

国民健康保険は、一人当たりの保険料は若干下がるものの、同一世帯、同一所得の階層では、阪神間で一番高い保険料です。

介護保険料は、今年から第5期に入り基準額で月額5341円と630円も上がります。

日本共産党議員団は県の「財政安定化基金」を活用し、介護保険料を引き下げよう求めましたが採決で否決されました。本来、市民生活を守るべき、社会保障が市民の暮らしを押しつぶすものになっています。

日の丸条例について（新政会の議員提案）

市の職員のみならず、市役所、学校をおとづれる方には「日の丸」に対してはさまざまな思いをもっての方がたくさんいらっしゃると思います。

市の施設全てに「日の丸」を掲揚することを条例で義務付け強制することには反対です。

スポーツの国際試合で国民のみなさんが「日の丸」を振って応援するのは、自らの意思で「自然な気持ち」の表れだと思えます。



しかし、決してそれを「押し付け」てはなりません。これが共産党市議団の立場です。（4月24日に委員会で継続審議が行われます）

その他当局に求めました

東日本大震災

被災地のがれき処理

基準と対策の見直しを国に求めること。市民への情報発信を行なう様求めました。

防災対策

津波避難ビルの確保、避難マニュアルの策定、繰り返しの避難訓練の実施求めました。

中学校の武道

新しく女子にも武道が導入されます。柔道での事故の多さが問題。指導者の研修を行い、子ども達の安全確保を最優先に求めました。



消費税増税に頼らずに 日本共産党 財政危機を打開する道筋を提言

民主党・野田政権は、「社会保障と税の一体改革」と称して、消費税を2014年に8%、2015年に10%に増税する大増税法案を閣議決定し、多くの国民から強い不安と批判の声が広がっています。

どうやって財政危機を打開するのか、多くの国民が答えを求めている

同時に、国民みんなが安心できる社会保障をどうやって再生・拡充していくのか、国と地方の財政危機をどうやって打開するのか、

そのための財源をどうやってつくるのかについて、多くの国民が答えを求めています。

日本共産党は、所得の少ない人に重くのしかかる最悪の不公平税制—消費税の大増税計画に断固として反対を貫き、消費税に頼らずに、社会保障を再生・拡充し、財政危機を打開するための提言を2月に発表しました



「緊急提言」の冊子は後援会事務所にあります。必要な方はお申し出ください。

社会保障を再生させます 財源はムダ一掃、富裕層 大企業への応分の負担で

社会保障を良くする「第1段階」として、小泉内閣以来の「構造改革」路線で、大きく崩された社会保障を再生させる「社会保障再生計画」を作成します(必要財源、9兆円)

その財源として、①大型開発や軍事費、政党助成金などのムダ遣い一掃②富裕層と大企業優遇の不公平税制の見直し③「富裕税」「環境税」「為替投機課税」などの新たな税の導入で12〜15兆円が生まれます。

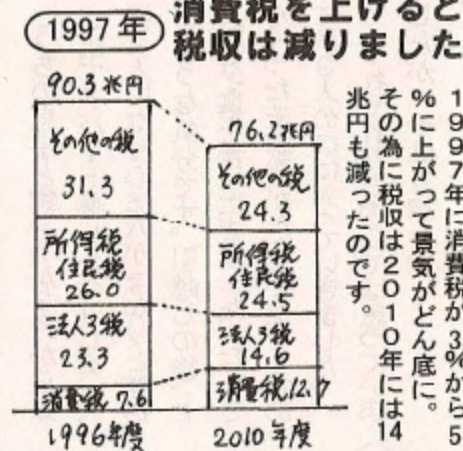
富裕層への負担

- *証券優遇税制を10%から30%に(欧米では当たり前)
- *5億円を超える資産に1〜3%の税率をかける「富裕税」を創設
- *金融の取引に対して「為替投機課税」を導入。仏独などで導入をめざし、ブラジルも取り組んでいる



富裕層への負担が世界の流れ

消費税を上げると 税収は減りました



先進国並みの社会保障実現は 国民全体で 力に応じて負担を

社会保障充実の「第2段階」は先進国では当たり前のたとえば、最低保障年金制度(必要財源1兆2千億円)の確立など社会保障を拡充していきます。

財源は国民全体で応能負担の原則に基づいて累進課税を強化する所得税の抜本改革で支えていきます。

*所得税税率の推移

1974~1983年		2007年~	
課税所得	税率	課税所得	税率
~ 60	10%	~ 195	5%
~ 180	14	~ 330	10
~ 300	18	~ 695	20
~ 600	27	~ 900	23
~ 1000	38	~ 1800	33
~ 2000	50	1800~	40
~ 4000	60		
~ 8000	70		
8000~	75		

消費税10% 廃業か倒産か

多くの中小業者は今の5%の負担でも大きく感じます。消費税を価格に転嫁仕切れず、預金を取り崩すなど、身銭を切って納税しています。しかし、消費税10%へと大増税されれば商売を続けていくのは不可能で、廃業か倒産を選択する以外にありません。(全国商工団体連合会会長、国分稔さん)



経営者は必読を

経営者は「提言」を必読する必要があります。消費税増税には「日本の経済の姿が変わる危険がある。」(日本商工連盟大阪地区代表世話人、サンリット産業会長、小池俊二さん)



党府委員会が主催する大阪経済懇談会(3/17)志位委員長が報告しました

「隣のモーター音がうるさくて眠れない」

騒音を測定し

測定値を示して解決しました

2月中旬に「いちご通信」を見て相談の手紙を出しました・」と、はがきが届きました。差出人はありません。
内容は、隣のマンションからモーター音がうるさくて、夜眠れない・



現場を見に行きました。水をためておくタンクの音がしていました。夜間はとくに音が強く聞こえます。近所の方に音の程度を聞き取りました。

「いちご通信」を見て相談のはがきが届きました

早速、市役所の公害対策課に相談。当局ではその事実を知っていました。何度か苦情の電話がかかっているが、電話の主が分からないままでした。マンションの持ち主には通告しているとの報告を受けました。
当局のアドバイスで、騒音測定をしました。3、4日測定し

たら、50〜60デシベルで健康を害する騒音の域に達していました。これには私も当事者も驚きました。早速公害対策課に相談しました。当局からマンション持ち主に指導してもらいました。

先日、相談者から「モーターを更にしてもらって、騒音が静かになった」と喜びの知らせが入りました。客観的にデータを示すことの大切さを教えていただきました。本当に良かった、私もうれしいです。

今年も生活相談やってます お気軽にご相談ください

TEL 4962-3666

お持ちしています

まはなお電話 だけでも

10時〜12時

水 土

相談所

JA

24時間

まさき一子のホットひと息

母からの手紙「みんなががんばらなきゃ」

私は毎月田舎からお米を買っています。今回は手紙とともに、3月25日に行なわれた、熊本県知事選挙のピラも一緒に入っていました。母は党员ではありませんが、熱心に応援している一人です。

こんな時、父ちゃんが生きておられたらと、つくづく思いました・」と手紙に書いてありました。80歳代のお年寄りが集まって共産党の県知事を誕生させようね、がんばろうね、と励ましている様子が目に浮かび目頭が熱くなりました。

『私も3月で83歳になりました。来る3月25日に新しい知事を選ぶ日がきます。何とかして共産党の県知事、くぼやま啓介さんに上がってもらいたいものです。今日は慶志宅(天草の旧本渡市、元市会議員・私のおじ)でいろいろ会議があり、話を聞いてみんなでがんばらなきゃと話合ってきました。』



〈選挙結果は10%弱の得票で当選できませんでした〉

息子の独立、寂しい・・・ でも子離れしなければ・・・

うちの息子と甥っ子が3月から家を出てアパート暮らしをはじめ、夫婦2人になり心に穴がぼかりと開いたような気分です。引越しの後、2人は夕食を食べにきました。たくさん作った天婦羅がたちまち夫も含めて男3人の口に入っていました。やれやれだと内心では思っていました、やはり寂しい・・・

もう息子は独立したんだ、子離れをしなければ・・・息子の部屋を掃除して、私の勉強部屋にしました。息子よ帰ってきてても部屋はないよ、

